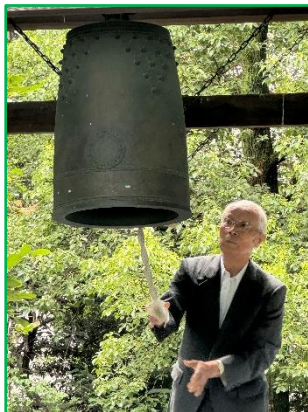


「平和祈念のつどい2026」



「日本のユネスコ加盟75周年記念イベント」 平和の鐘を鳴らそう2026 全国共同アクション

主催:目黒区 日時:2026年8月6日(水) 会場:目黒区民センター



目黒ユ協は、例年「平和の鐘を鳴らす活動」と「広島に千羽鶴を送る活動」を継続している。今年もメンバーが『平和祈念のつどい』に参集した。同じ頃、広島では目黒区から平和の特派員として派遣された小中学生によって、目黒ユ協が託した千羽鶴が平和記念公園へと献納されたことだろう。

式典は、平和祈念と犠牲者追悼で始まった。目黒区長は挨拶の中で、「81年前の原爆投下は、人類最悪の人災である。我々は唯一の被爆国として、『戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の大切さ』を風化させてはならない」と力強く述べられた。



ロシアがウクライナに侵攻して5年、アメリカはイスラエルと共にイランの核兵器疑惑に対し軍事作戦を開始した。国際秩序が揺らぐ中、昨年特派員を経験した中学生が、『それでも平和の大切さを伝えていきたい』と語っていたことが感慨深かった。この子どもたちがやがて大人になって、また次の世代へと『平和の大切さ』を発信し続けてくれることを真摯に願っている。

2026年は、戦後の日本が国際社会に復帰する大きな一歩となった「UNESCO加盟」から75周年という大きな節目の年にあたるため、日本ユネスコ協会連盟は、全国各地で一斉に『平和の鐘を鳴らそう』プロジェクトを実施した。今後も、平和な世界が次世代にも続くことを願ってユネスコ活動が続けていきたいと思った。 広報 白岩 葉子

追記: 広島の平和の鐘は人間国宝の故香取正彦氏(目黒区名誉市民・当協会会員)の作品。1985年目黒区は平和都市宣言{核開発廃絶や戦争のない世界を目指す}を表明した。香取氏はその記念として区に梵鐘を寄贈した。「めぐろ平和の鐘」と命名された。

熊本地震支援募金のお願い

2026年7月28日に発生した熊本地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

目黒ユネスコ協会では、日本ユネスコ協会連盟の「災害子ども教育支援募金」を通して、熊本地震の支援を行います。一人でも多くの子どもたちが安心して学び続けられる環境をつくるために、皆さまのあたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

★詳細 4P 参照



プラスチック削減で守る環境と健康

主催：目黒区教育委員会 2026 年 7 月 11 日・18 日

講師：高田秀重氏（東京農工大学名誉教授） 緑が丘文化会館

海に流れ込んだプラスチック片やマイクロプラスチックが海洋生物の命を脅かしていることや、更に微小となったナノプラスチックを我々が魚類を食べることで摂取していることは既に知るところである。今回の講演では、それに加えてプラスチック生産時に添加される化学物質（プラスチックケミカルズ）のヒトへの具体的な悪影響、更には、いまだによく把握されていない添加物どうしの反応で生成される物質（非意図的生成物質）の危険性を学んだ。ナノプラスチックは血管内壁に炎症をおこすことで動脈硬化の原因のひとつとなり、体内を巡って心臓や脳にまで達するという。プラスチックケミカルズが与える影響は生殖系において特に深刻で、妊娠や胎児の健康を害すること等がデータで報告されている。

現在の私たちの暮らしは便利さや安価を求めた結果、プラスチック製品に囲まれている。街頭のゴミ箱からあふれ出たもの、不法投棄されたものや、資源というの名の下で輸出されても処理のキャパシティを越えたものなどは、風や雨によって川へ海へと移動し海岸に漂着、または海流に浮遊して汚染を地球規模に広げていく。

この現状に対する対策は国際的なものでなければならず、企業・国の政策・国際協力などを要

する。国際プラスチック条約が国連で協議されてはいるものの、今だ諸国の合意を得られていないのが実状だ。持続可能な社会を実現するための取り組みとして 3R が推進されているが、高田氏はリサイクル・リユースの問題点を指摘のうえで、リデュース（生産の削減）こそが重要であると力説なさった。

生活者として私たちが出来ることについて考えてみた。プラスチック製食品保存容器に食品を入れたまま電子レンジにかけると多量のプラスチックケミカルズが溶出すること、メラニンスポンジなどのスポンジ類や人工芝・三角コーンも汚染の原因になっていること、ペットボトル飲料さえすでに汚染されていることなどを学習すると、なすべき暮らしの有りようがおのずと見えてくる。

高田氏は学術的研究のみならず、未来を担う子どもたちの環境や健康への意識を高めるために多数の児童書も出版しておられる。私たち大人は子どもたちの体を汚染しないためにもプラスチック問題の解決に向けて努力し自らの生活を見直す責任があると認識した。

広報 鈴木やよい

パーシモンほたる祭り 平和の折り鶴

パーシモンホール・2026 年 7 月 12 日



「パーシモンほたる祭り」で、今年も、来場された方々に折り鶴を折っていただくブースを設けた。11 時から 3 時ごろまでの約 4 時間の間に、子どもだけでなく、親子連れ、おとなの方、外国人の方など途切れることなく多くの方が鶴づくりに参加してくれた。作った鶴は、千羽鶴にして、8 月に広島に派遣される平和の特派員に託すことなど趣旨を伝えると、快く協力してくれる方が多かった。作り方がわからない人には、スタッフのほか、目黒区平和の特派員の経験を持ち、昨年 11 月の「目黒ユネスコ協会青少年フェスタ」に参加した二人の中学生・高校生も寄り添って優しくアドバイスをしていた。若い人たちが進んで参加してくれたことは嬉しいことであった。7 月 22 日に、ユネスコ事務局で望月理事のご指導の下、スタッフで千羽鶴に仕上げ、28 日には目黒区総務課の平和祈念事業のご担当者、広島原爆の子の像に捧げてくださるようお願いした。武力で相手を従わせようとする出来事が世界で頻発しているが、平和の大切さを粘り強く訴えていきたい。

支援委員長 岩佐富雄

イタリア語初級講座のご紹介

イタリア語初級講座は、週に一度訪れる「別の世界への扉」。ナポリ出身のピエトロ先生の明るいイタリア語が優しく響きます。この講座は「学びの場」であると同時に小さな旅です。



ピエトロ先生は、一人ひとりの名前を呼びしっかり話しかけてくれます。文法が違ったり不自然だったりしても、先生は丁寧に、そして少しユーモラスに直してくれます。そのやり取りの中で、イタリア語は「単なる知識」ではなく、「誰かとつながるための温かな手段」であり、新しい世界の扉を開くことだと実感します。

授業では、イタリアの文化の話がよく出てきます。カフェでの注文、レストランでの会話、地方ごとの料理の香り。先生が語るイタリアの風景はどれも鮮やかで、行ったことのない街の匂いまで感じられ、笑いながら共有する時間には、教室全体がひとつの旅の仲間になったような心地よさがあります。

受講者の目的は本当にさまざまです。留学・旅行・お孫さんとイタリア語で話したいご夫婦もいます。年齢も背景も違うのに、同じ言葉を学ぶというだけで、自然に心が近くなる不思議さ。教室には温かい空気が流れます。一年以上通い続けて、学びたい気持ちはむしろ強くなるばかり。イタリア語を通して広がる世界が、まだまだ先に続いています。

お世話人 平野こずえ

自主語学講座

♥参加者随時募集中♥

♥国際理解・国際交流、ユネスコ運動推進として活動しております。

興味のある方は事前にお問合せを。E-mail:meguro@unesco.or.jp

イタリア語(初級) 土:10:00~11:30 ピエトロ・メルリーノ 先生

イタリア語(初中級) 木:13:20~14:50 シモーナ・マリアーニ 先生

ドイツ語(初中級) 水:10:15~11:45 イザベル・ゴイ 先生

中国語(中級) 金:10:00~11:30 黄 愛華 先生

(上記4講座 会場:緑が丘文化会館)

英語(初中級) 木:10:00~11:30 ジェフ・モーエン 先生

(会場:目黒区民センター 社会教育館)

フランス語(中級) 火:15:30~17:00 伊藤クロード・アンヌ 先生 ZOOM

UNESCO 憲章(前文)

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通して世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

政府の政治的及び経済的取極のみに基づく平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われないためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

—前文より抜粋—

UNESCO/国際連合教育科学文化機関

United Nations Educational Scientific and Cultural Organization

★文化講座②「パレスチナ・ガザの現状から平和を考える」

2026年10月10日(土) 目黒区美術館区民ギャラリー

講師:佐藤真紀氏 国際協力アドバイザー

9月16日 申し込み受付開始

★文化講座③「もっと知ろう 狂言の魅力」

2026年11月29日(日) 中目黒 GT プラザホール

講師:奥津健太郎氏・健一郎氏 父子 能楽狂言方和泉流

10月16日 申し込み受付開始

★ユネスコ青少年フェスタ

「プラスチックモンスターをやっつけよう！」

2026年12月20日(日)12:30~16:30 (応募詳細次号)

中目黒 GT プラザホール・講師:戸来祐子氏(クレヨンハウス編集部)

★国際交流ひろば「日帰りバスツアー」

香取神宮、伊能忠敬記念館、山車会館見学および佐原の町散策

日時:2026年11月11日(水)8:30~17:30頃

集合:目黒川船入場(中目黒1-11-18) 8:15am (時間厳守)

参加費:4,500円(含む 昼食代ほか)

募集人数:80名(申し込み多数の場合は抽選)

対象:16歳以上の目黒区在住、在勤者、在学者と外国人

申込:氏名(ハガキ1枚につき1名)、フリガナ、年齢、国籍、住所、電話番号、

イベント名「日帰りバスツアー2026」を記入し、往復はがきで下記宛に。

NPO 法人 目黒ユネスコ協会

〒153-0053 東京都目黒区五本木2-24-3 五本木小学校内

募集期間:10月15日~10月25日(日)必着(抽選結果は後日連絡)

熊本地震支援募金のお願い

災害子ども教育支援

被災しても安心して学びを

続けられるように

熊本地震支援募金の振込先は、次の通りです。

みずほ銀行 祐天寺支店

店番 224 口座番号 1035142

特定非営利活動法人 目黒ユネスコ協会

トクヒ)メグロユネスコキョウカイ

★皆様の温かいご支援をお待ちしております。

9月以降の予定

★9/8(火)~初めて習う日本語

▲9/8(火)~目黒ユネスコ日本語教室

2026年秋期

★9/20(日)文化講座①オペラ入門

★10/2(金)スペイン語初級講座

★10/2(金)ボランティアのための

日本語教育研修講座

★10/10(土)パレスチナ・ガザの平和

★11/11(水)交流ひろば バスツアー

★11/14(土)サイエンス教室

★12/20(日)青少年フェスタ

■事務局:月曜~金曜/13:00~16:00

■自主語学教室6講座(仏・英・独・中・伊2)

◇会員募集中◇ 趣旨に賛同される方への入会
を歓迎いたします。問合せ:事務局(宮城)迄。■目黒ユネスコ協会主催
●目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業
▲目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業
★目黒教育委員会からの受託事業

編集後記 いま世界各地で、熱波や干ばつに山火事、そして集中豪雨や洪水などの気候変動による異常気象で災害が頻発している。日本では連日の猛暑日、と思えば線状降水帯による千葉、石川、富山の洪水被害。九州では雨不足でダムが干上がっている。ヨーロッパでも 40℃を超える熱波が襲い、河川の水が干上がり、山火事が多発。ネパールでは温暖化が原因と推測される氷河崩落による大洪水が起き多数の犠牲者がでている。このような気候変動による極端な気象現象には様々な要因が複雑に関わり合っているが、最大の原因は人為的要因による地球温暖化であると多くの専門家が指摘している。今も地球の気温は上がり続け、このままでは生態系、そして社会は深刻な危機を免れない。原因を生み出したのが人間なら、それを止めることができるのも、私たち人間。個人レベルでもあらゆる工夫を通じて“地球を守る行動”が必要であろう。

和田広美

